


STEEL SHELF 2 LAYERS / STEEL SHELF 3 LAYERS

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にご使用していただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、読み終えた後もこの取扱説明書は大切に保管しておいてください。

こちらの取扱説明書は、下記弊社取扱製品の共通取扱説明書となっております。


MODEL: GM-1078, GM-1079

WARNING



本体各パーツは製造工程上、鋭利な箇所がございます。指を滑らせたりしますとケガをする恐れがあります。安全の為、組み立て時には必ず作業用手袋を着用ください。

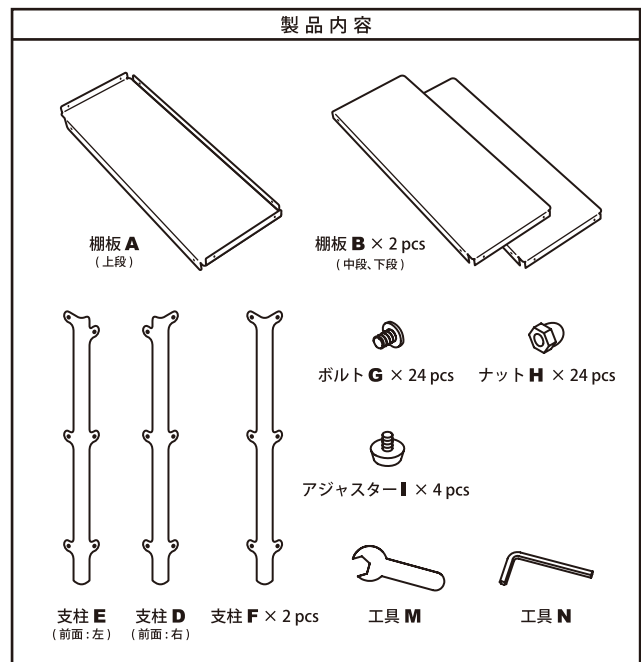
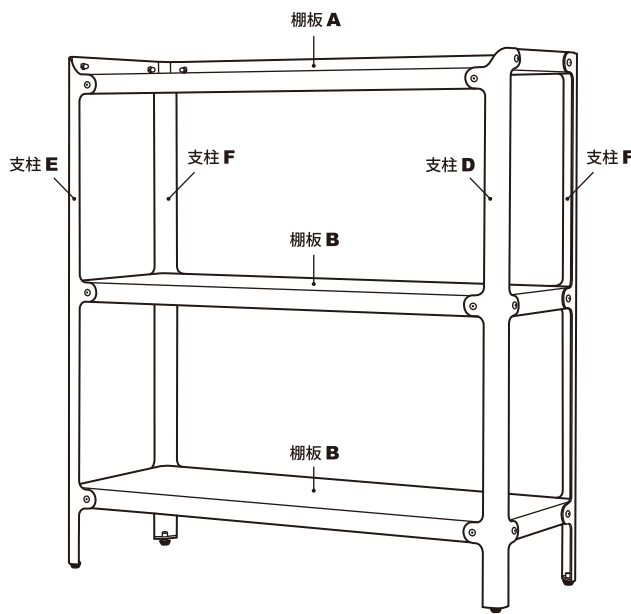
WARNING



小さなお子様やペットがいる環境下でのご使用は思わぬ事故につながる恐れがあります。設置場所には十分ご注意ください。また、地震等でシェルフが転倒しない様、転倒防止の固定用金具等で固定する事をお勧めします。固定が出来ない際は、設置場所や設置方法には十分ご注意ください。

使用上の注意

- 本製品は組み立てが必要になります。本説明書に従い、正しく組み立ててください。
- 作業を始める前に、必ずパーツが全て揃っていることをご確認ください。
- 作業は必ず十分スペースが取れる、水平な場所で行ってください。また作業中、パーツのかど等で床等を傷つける恐れがありますので、布やカーペットの上で作業することをお勧めいたします。
- 各パーツの取り付け、組み立てが不十分ですとご使用中に本体が破損し、ケガの恐れがございます。パーツの取り付け、各部の組み立て等は確実に行ってください。
- パーツ等が緩んだままのご使用は大変危険です。定期的に各部のパーツに緩みがないかご確認ください。
- 設置後にがたつきがある場合は、本体脚部のアジャスターを調節してください。
- 必ず平らで安定した場所へ設置してください。
- 地震等でシェルフが倒れてケガをしない様、不安定な場所への設置はおやめください。必要に応じて固定用金具・転倒防止策グッズを併用することをお勧めいたします。
- 設置後に移動する際は、収納物を移動させてから、本体をしっかり持って移動させてください。また、収納物を載せたまま引きずらないでください。
- フローリングやビニールカーペットの上に設置しますと、脚部に使用しているパーツの色が付着してしまう場合がございます。ラグ等を敷いてのご使用をお勧めいたします。
- 小さなお子様やペットがいる環境下でのご使用は思わぬ事故につながる恐れがあります。設置場所やご使用方法には十分ご注意ください。
- 製造工程上、パーツには鋭利な箇所がございます。手や指を滑らせないようにご注意ください。
- 棚の上に乗ったり、足を掛けたりしないでください。パーツが破損したり、本体転倒の恐れがあり大変危険です。
- 重量がある収納物は下段に収納してください。上段に重たいものを載せるとバランスが悪くなり、転倒の可能性があります。
- 本製品に破損や異常が発生した際は、直ちにご使用をお控えください。
- 本製品は屋内用です。
- 直射日光、または熱を避けてください。
- 防水加工、防錆加工は施されていません。湿気の多い場所や雨風にさらされる場所でのご使用はおやめください。
- お手入れの際は、中性洗剤を含ませた布で汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。タワシや磨き粉は使用しないでください。
- シンナーやベンジン等の薬品のご使用はお避けください。
- 本製品を改造しないでください。



※【MODEL: GM-1078】(2段)は棚板Bが1pc、ボルトG、ナットHは16pcsです。

外形寸法 : 【 GM-1078 】 H.530 W.880 D.320mm
 【 GM-1079 】 H.925 W.880 D.320mm
 材質 : スチール (粉体塗装)
 付属品 : アジャスター4pcs、六角レンチ 1pc、スパナ1pc

*This warranty is valid only JAPAN
 MADE IN CHINA

DULTON

輸入販売元
株式会社ダルトン

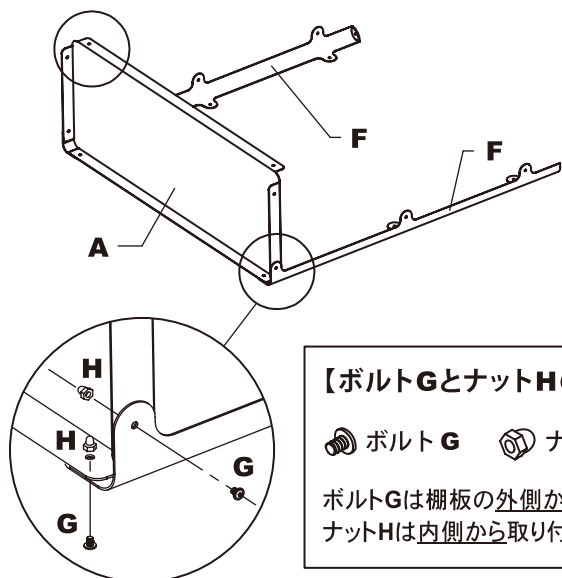
CONTACT US
 Tel : 03-6722-0940
 Email : ec@dulton.com
 HP : www.dulton.jp

組み立て手順

※【MODEL: GM-1078】(2段)と【MODEL: GM-1079】(3段)は同様の組み立て手順になります。
本説明書では【MODEL: GM-1079】(3段)を例に説明しています。

- 1** 支柱F2本を地面に置き、向き(※)に注意して棚板Aを上段に配置します。HとGで、支柱Fの穴に仮留めしてください。
- 2** 棚板Bを向き(※)に注意して中段、下段に配置します。棚板Aと同様に支柱Fの穴に仮留めしてください。

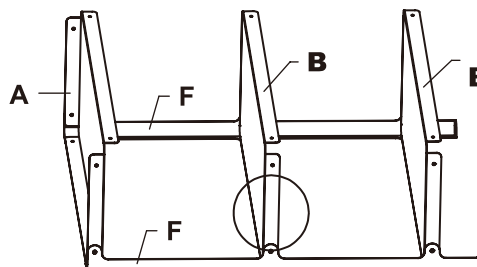
※棚板Aは図の向きで配置します。



【ボルトGとナットHの仮留め】

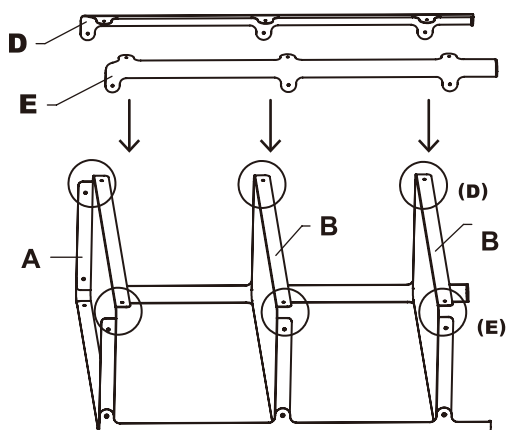
🔩 ボルトG 🍲 ナットH

ボルトGは棚板の外側から、
ナットHは内側から取り付けてください。

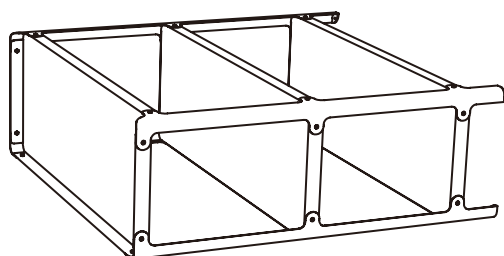


※棚板Bは図の向きで配置します。

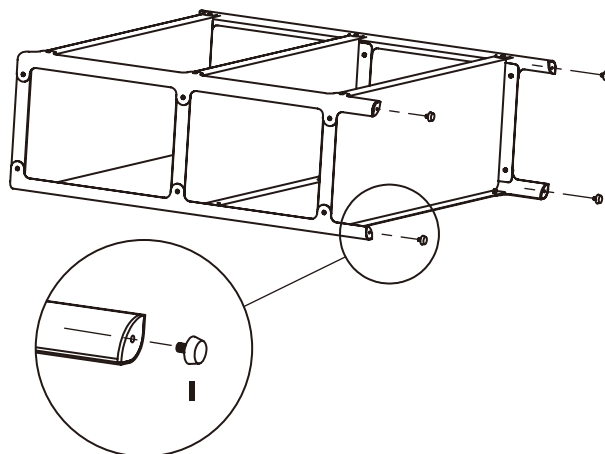
- 3** 支柱E、Dを○の位置に合うようにして、棚板A、Bに仮留めしてください。



(仮留め完了後)



- 4** アジャスターIを支柱F、E、Dの穴に取り付けます。組み上がった本体を起し、棚板の水平を調整してください。



- 5** 棚板の水平を確認できたら、工具Mと工具Nを使用し仮留めした箇所を下段から順に本締めして完成です。がたつきがある場合はアジャスターで調整してください。



※ボルトGには工具Nを、ナットHには工具Mを使用して本締めします。